



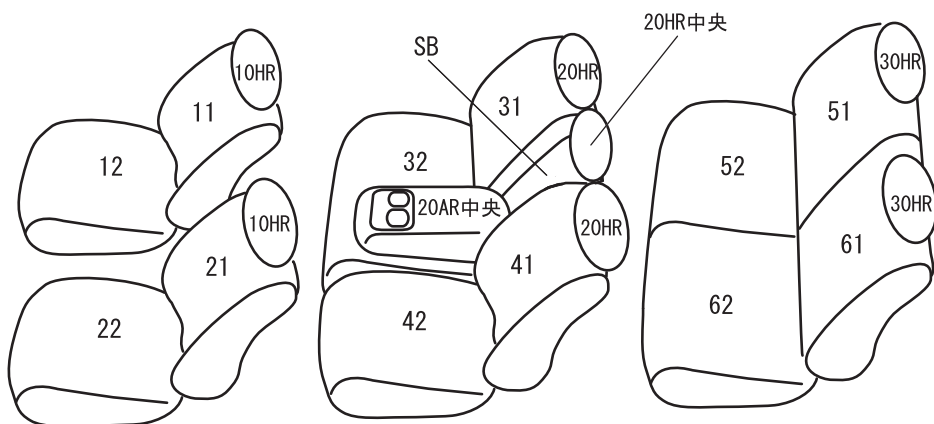
# トヨタ ランドクルーザー プラド

## 専用シートカバー取付説明書

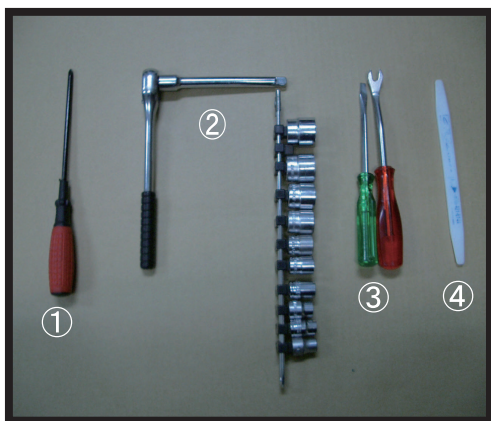
この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- \* 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- \* 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

# 本製品シート形状とパーツの名称



## 取付必要工具



### 工具名

- ① +ドライバー
- ② ソケットレンチセット
- ③ ドライバーまたは内張り外し
- ④ ヘラ

\*この車種では、①の工具を使用します。

\*この車種では、②と③の工具は使用しません。

## シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。  
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品交換もしくは修理対応させていただきます。  
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。  
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。  
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

## 本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

## シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**



## ⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようご注意ください。

## ⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。  
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。





- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

# コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておられません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

# 1 列目座面



①始めにシート座面裏にゴムで固定されているカバーを外します。カバーはゴムでシート座面裏の金属部分に引っ掛け固定されています。



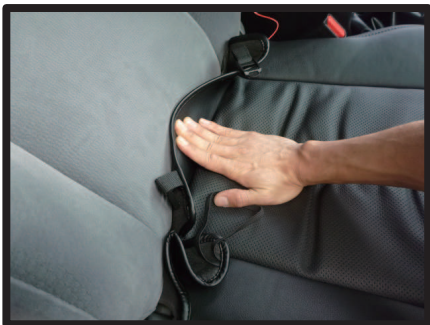
④背面から入れ込んだ生地を引き出します。矢印部分にサイドエアバッグの配線がありますので、配線に気を付け、配線を交わして生地を引き出して下さい。



②カバーを裏返してシートのラインに合わせます。シートのラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。



⑤カバー内側面のプラスチックフックを座面下部のシートフレームの縁に固定します。（運転席側は、少し生地を巻き込むみながらの固定になります）



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行って下さい。

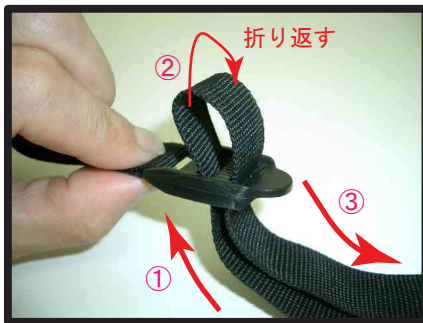


⑥カバー外側側面の生地をプラスチック部の中へ入れ込みます。ヘラなどを使用すると作業が行いやすくなります。

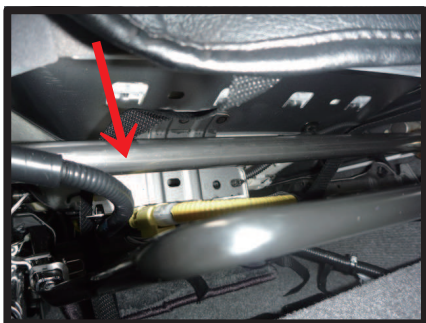




⑦カバー前方に2本のベルトが付いています。



⑩ベルトは①→②→③の手順で受け側のバックルに通します。通したベルトを引くことでカバーの前後が固定されます。ベルトは強く引きすぎると切れますので、ご注意ください。



⑧ベルトはスライドレバー、矢印部分の金属バーの上を通しシート背面へ回します。



⑪⑤で引き出した生地が付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。S字フックは座面裏の金属部分に引っ掛け固定します。



⑨背面からベルトを引き出し、固定します。



⑫カバーのラインを整えて1列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

# 1 列目背もたれ



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



①カバーを半分ほど折り返してシートにかぶせます。この際シートの肩口までしっかりと生地が張るようにかぶせて下さい。



④ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側に生地をしっかりと入れ込み、生地の伸びを利用して台座を取り出します。



②シートのラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。この際1ページの①で外したカバーは、上へめくり上げ、背もたれカバーの中へ入れ込んで下さい。



⑤①→②→③の手順でカバーをシートに馴染ませていきます。シート側面の生地がしっかりと張るまで行って下さい。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥③で入れ込んだ生地を背面から引き出します。矢印部分にサイドエアバッグの配線がありますので、配線に気を付け、配線を交わして引き出して下さい。



⑦⑥で引き出した生地とカバーの背面下(ポケット下の裏)をマジックテープで固定します。

**⚠ 注意 ⚠**

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



⑩サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整えて1列目運転席側背もたれの完成です。



⑧カバー背面下の生地に付いているゴムに付属のS字フックを取り付けます。S字フックは座面裏の金属部分に引っ掛け固定します。



⑨シート背面下は図のように収まります。



## 2列目座面



①始めにリクライニングレバーを外します。丸いプラスチックのキャップをへらなどを使用して、キャップのフチに入れ込み外します。



④カバーを裏返してシートラインに合わせて合わせます。



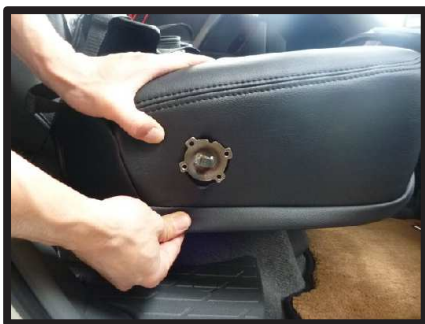
②リクライニングレバーを固定しているネジ(3本)をドライバーを使用して外し、リクライニングレバーを外します。



⑤シートのラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。



③チャイルドシート固定用フック部分を覆っているカバーをめくり上げておきます。  
※チャイルドシートを使用されない方は必要がない作業です。



⑥②で外したリクライニングレバー部分をカバー側面の加工穴から取り出します。

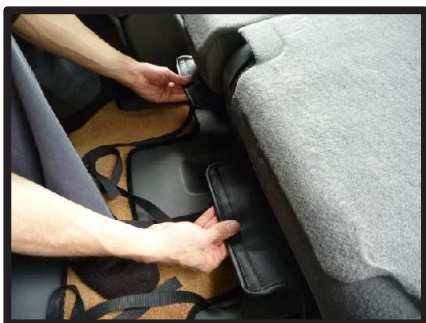




⑦ 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。アームレストの下半分も同様に生地を入れ込みます。



⑩ ⑧で引き出した生地をシート本体にマジックテープで固定します。



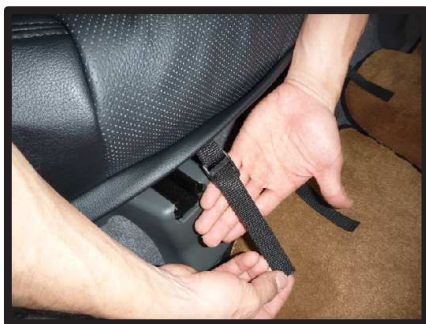
⑧ 背面から入れ込んだ生地を引き出します。



⑪ ⑩の作業で図のプラスチック部には生地が引っかかりますのでプラスチック部の中へ生地を入れ込みます。



⑨ ⑧で引き出した生地に付いているベルト(3本)を、座面裏を通し前から引き出します。



⑫ ⑨で引き出したベルトをシート前方で固定します。

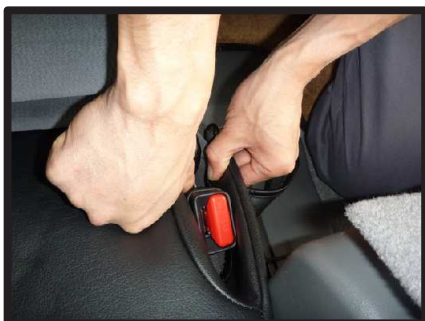
## 2列目座面続き



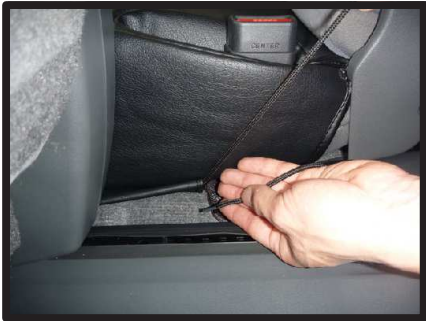
⑬ベルトはスライドレバーの上を通して固定するようにして下さい。



⑭カバー外側側面下から出ているヒモを座面裏へ入れ込みます。



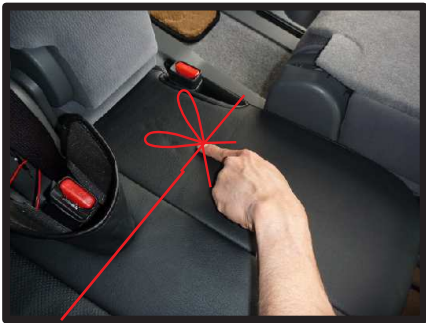
⑮シート内側のシートベルトバックル部分に生地を入れ込みます。



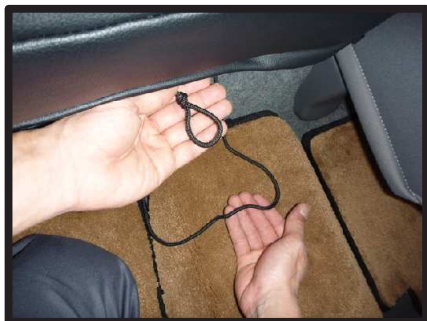
⑯カバー内側側面から出ているヒモも座面裏へ入れ込みます。



⑰シート内側のカバー側面下にマジックテープが付いています。マジックテープはシート座面裏に固定します。



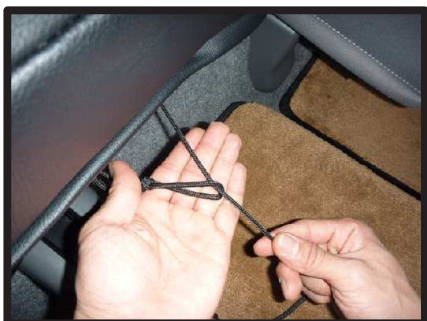
⑱両側面から入れ込んだヒモは、図の指を指している位置迎りの座面裏で引き絞り結び留めます。



⑱ヒモの結び方は、まず片方のヒモで輪を作ります。



⑳カバーのラインを整えて2列目運転席側座面の完成です。  
助手席側は形状は違いますが同様の固定方法で取り付けます。ヒモの引き出す位置を㉓から確認して下さい



㉑もう片方のヒモをその輪に通して引き込みます。座面下回りが絞り込まれ固定されます。ヒモは強く引きすぎると切れますので、ご注意ください。またヒモを結んだ後にシートを前後にゆっくりスライドさせて、ヒモがシートレールに干渉していないか確認して下さい。



㉒助手席側の外側側面のヒモは運転席側と同様に入れ込みます。内側側面は矢印方向へ背面から引き出します。運転席側同様にヒモを結び留めた後にシートを前後にスライドさせて、ヒモが干渉していない確認して下さい。



㉑シート中央のシートベルトバックル部分に生地を入れ込みます。



㉒カバーのラインを整えて2列目助手席側座面の完成です。



## 2列目背もたれ



①カバー背面のファスナーを開けます。肩口から出ているシートベルトを交わし、カバーをかぶせていきます。



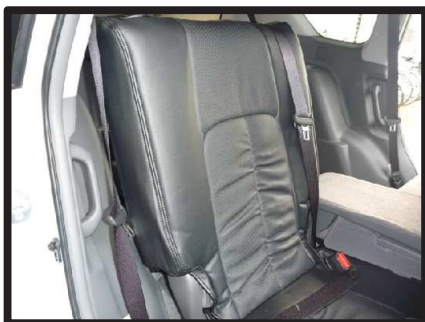
④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



②シート内側側面の金属バーをカバーの加工穴に通します。



⑤背面から入れ込んだ生地を引き出します。



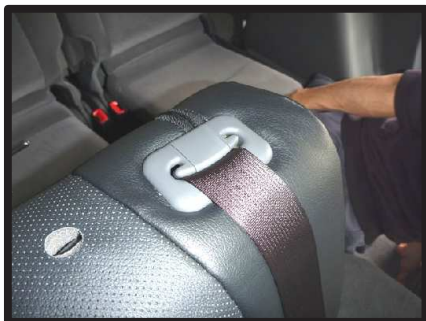
③シートを包み込むようにシート全体にカバーをかぶせます。



⑥始めに開けておいたファスナーを閉じます。生地を内へ寄せながらファスナーはゆっくり閉じるようにして下さい。



⑦ 矢印の位置の生地裏にマジックテープが付いています。シートのラインを整えながらマジックテープをシート本体に固定します。



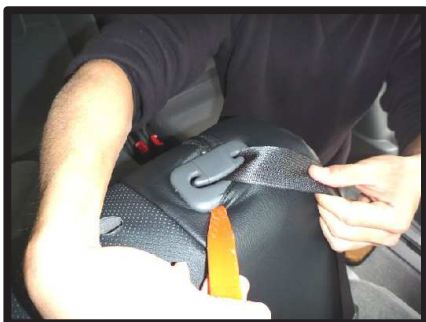
⑩ プラスチック部分は図のように収まります。



⑧ ⑤で引き出した生地と背もたれ背面下をマジックテープで固定します。



⑪ リクライニングレバーのフチにも生地を入れ込みます。



⑨ シートベルトが出ているプラスチックのフチ部分に生地を入れ込みます。

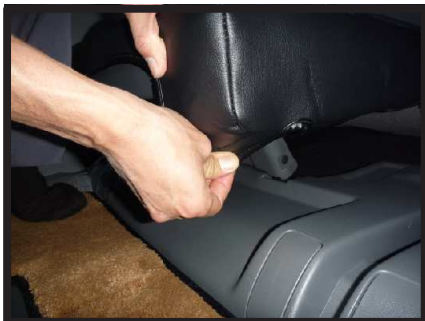


⑫ ヘッドレストの台座を取り出し、カバーのラインを整えて2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側は1列目と同様にカバーをシートの上からかぶせ、背面のファスナーを閉じてマジックテープで固定して下さい。

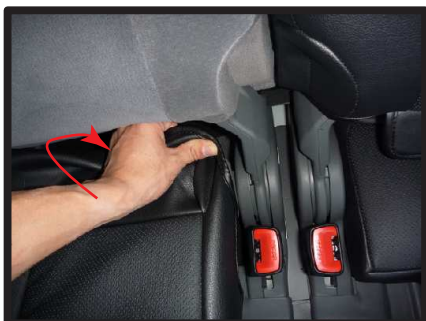
### 3列目座面



①カバーをシート前方から矢印方向へかぶせます。



④シート前方裏もマジックテープでシート本体に固定します。



②シートの付け根部分を巻き込むように生地を入れ込みます。



⑤シート両側面裏にもマジックテープでシート本体に固定します。



③背面から入れ込んだ生地を引き出しマジックテープでシート本体に固定します。



⑥カバーのラインを整えて3列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。



## 3列目背もたれ



①カバーを半分ほど折り返してシートにかぶせます。



④背面から生地を引き出し、カバーの背面下部分とマジックテープで固定します。



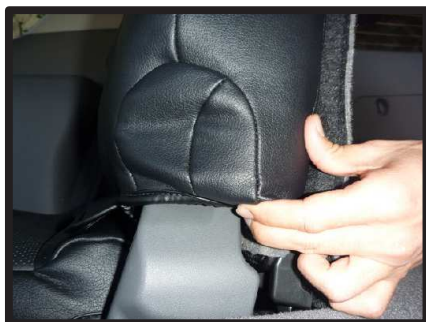
②シートのラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。



⑤ヘッドレストの台座を取り出します。3列目背もたれの台座は取り出しにくいのでヘラなどを使用すると作業が行いやすくなります。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥シートの両側面下に生地を入れ込み3列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に付けます。

## 2列目中央パーツ



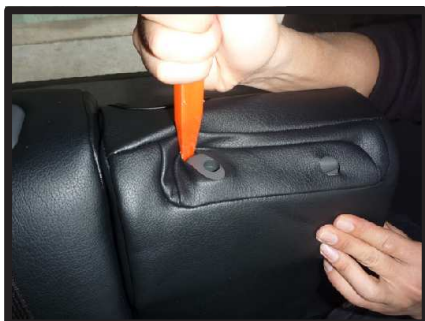
①カバー側面のファスナーを開けた状態でシートにかぶせます。



④カバー側面のファスナーを閉じます。



②シートを前に倒してカバーを矢印の方向に包み込むようにかぶせます。シート本体を押し潰しながらかぶせて下さい。



⑤ヘッドレストの台座を取り出します。3列目背もたれと同様に隙間が大変狭いためヘラのようなものを使用して台座を取り出して下さい。



③②の部分は図のように収まります。



⑥2列目中央パーツの完成です。



## 2列目アームレスト



①始めにドリンクホルダーを外します。フタを開けるとネジが2本ありますのでドライバーで外します。



④アームレスト下の隙間に生地を入れ込みます。



②ドリンクホルダーは①のネジと、丸印部分の2箇所クリップで固定されていますので、上へ引き抜くように外します。



⑤アームレストを倒して入れ込んだ生地を引き出します。



③カバーをアームレスト先端からかぶせます。

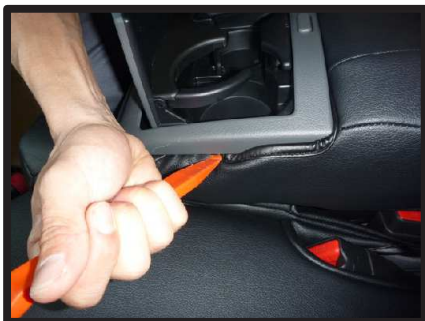


⑥アームレスト付け根部分のファスナーを閉じます。

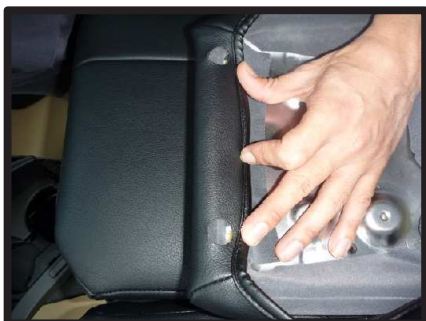
## 2列目アームレスト続き



⑦14ページの⑤で引き出した生地とアームレスト表面の生地をマジックテープで固定します。



⑩ドリンクホルダーのフチに生地を入れ込みます。



⑧ドリンクホルダーのクリップがはまる穴にカバーの加工穴を合わせます。



⑪2列目アームレストの完成です。  
※シートカバーの特性上、矢印部分がアームレストを起こす際に生地が引っかかる場合があります。アームレストを起こす際に注意して起こされるか、矢印部分の生地裏に両面テープを貼り付け、アームレスト本体に固定するなどの対処をお願いします。



⑨ドリンクホルダーを元に戻します。



— 15 — ⑫アームレストを背もたれ側に起こした状態です。

# ヘッドレスト(1)



① 1列目ヘッドレストです。平らなプラスチック部品が付いている方が前になります。カバーを半分ほど折り返してヘッドレスト先端までしっかりとかがせます。



④ プラスチックのフックは断面図のように、カギ状のプラスチックに平らなプラスチック部分を生地と共に折り返してはめ込み、固定します。



② カバーを左右均等に引き下ろし、ヘッドレスト全体にかがせます。



⑤ ヘッドレスト裏は図のように収まります。



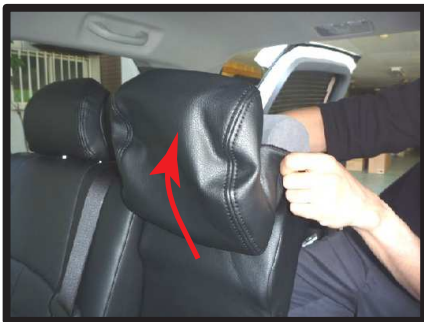
③ ヘッドレストを背もたれから外します。ヘッドレスト裏でプラスチックのフックを固定します。



⑥ ヘッドレストを背もたれに戻し、カバーのラインを整えて1列目ヘッドレストの完成です。

2列目ヘッドレストも同様に取り付けます。

## ヘッドレスト(2)



- ① 2列目センターヘッドレストです。矢印の方向にヘッドレストの前方からカバーをかぶせます。ヘッドレスト先端までしっかりとかぶせて下さい。



- ④ 1列目ヘッドレストと同様にヘッドドレスと裏でプラスチックフックを固定します。カバーのラインを整えて2列目センターヘッドレストの完成です。



- ② 2列目センターヘッドレストは形状上きつく出来ています。ヘッドレスト後方を指で押し潰しながら、慎重に全体にかぶせていきます。



- ⑤ 3列目ヘッドレストはカバーにゴムが付いています。ゴムを図のように通してカバーをかぶせていきます。後は2列目センターヘッドレスト同様に取り付けを行って下さい。



- ③ カバーがヘッドレスト全体にかぶせたら、押し潰して入れたヘッドレスト部分に変形していることがありますので、ヘッドレストの形状を指で元に戻して下さい。



# 完成図



1 列目



3 列目



2 列目・1



2 列目 3 列目フラット状態



2 列目・2



## After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

### ● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。  
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。



- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。  
(巾135cm・メートル単位での販売となります)  
キルティング仕様の生地は対象外です。

パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

## …> 生地別メンテナンス方法

### ウルトラスエード

#### ●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



### 本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

#### ⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



### PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



### ファブリック

#### ●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

